

記者発表

資料配付：平成21年8月28日

平成22年度概算要求

記者発表資料



<http://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/>

問い合わせ先

電話：076-264-8800（代表）

河川関係 調査第一課長 森田（もりた）

道路関係 調査第二課長 吉田（よしだ）

平成22年度 概算要求のあらまし

平成22年度概算要求のポイント

- ・ 国道470号 のうえつ ななおひみ 能越自動車道七尾氷見道路の事業推進
- ・ 国道8号 かが 加賀拡幅の事業推進
- ・ 国道159号 かなざわとうぶ うたつ 金沢東部環状道路の事業推進【卯辰トンネル(Ⅱ期線)】
- ・ かけはしがわ かけはしがわ かけはしがわ 梯川水系 梯川 梯川河川改修事業の整備推進
- ・ てどりかわ やなぎだにちゅうりゅう 手取川水系柳谷中流砂防えん堤群の整備推進
- ・ じんのすけだに 甚之助谷地区地すべり対策事業の整備推進
- ・ ちよつかつししかわかいがん こまつ 直轄石川海岸(小松工区)の整備推進

1. 基本方針

限られた予算の中、効果の高い事業への重点投資を図り、事業評価の厳格な実施、公共工事のコスト縮減、入札・契約制度に係る競争性・透明性の向上の実施により、一層効果的かつ効率的に事業を推進するとともに、現在進行中のプロジェクトの早期供用を推進します。

2. 主要施策

◆ 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業育成 ◆

- 国道470号 のうえつ ななおひみ 能越自動車道七尾氷見道路の事業推進 ……資料1
七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県内では、七尾市八幡から富山県境の延長約 13.6km で事業を推進しています。平成 22 年度は、全線において、用地買収、改良及び橋梁工事を推進します。
- 国道159号 かなざわとうぶ うたつ 金沢東部環状道路の事業推進【卯辰トンネル(Ⅱ期線)】 ……資料2
かなざわとうぶ かなざわそと ほくりく 金沢東部環状道路は、金沢外環状道路(山側環状)の一部を構成し、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約 9.4km の事業です。平成 22 年度は、卯辰トンネルⅡ期線の工事を推進します。
かなざわ (金沢市)

◆ 人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実 ◆

- 国道470号 ^{のうえつ} 能越自動車道 ^{ななおひみ} 七尾氷見道路の事業推進 ……資料1(再掲)

- 国道159号 ^{かなざわとうぶ} 金沢東部環状道路 ^{うたつ} の事業推進【卯辰トンネル(Ⅱ期線)】 ……資料2(再掲)

- 国道8号 ^{かが} 加賀拡幅の事業推進 ……資料3
加賀拡幅は、国道8号の加賀市内の交通混雑の緩和を目的とした延長約6.4kmの事業です。平成22年度は、加賀市箱宮町から松山町間において舗装工事を推進し、同区間(L=2.0km)の供用を図るとともに、加賀市加茂町～黒瀬町間の用地買収及び加賀大橋の下部・上部工を推進します。(加賀市)

- 国道8号 ^{こまつ} 小松バイパスの事業推進 ……資料4
小松バイパスは国道8号の交通需要をはじめとする諸問題に対応し、加賀産業開発道路(主要地方道金沢小松線)と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。平成22年度は、小松市八幡～東山町間の4車線化に向けて、橋梁及び改良工事を推進します。(小松市)

- 国道159号 ^{ななお} 七尾バイパスの事業推進 ……資料5
七尾バイパスは、国道159号の七尾市街地の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的とした、七尾市川原町から同市下町に至る延長約4.3kmのバイパス事業です。平成22年度は、古府地区等の用地買収及び藤野地区の改良工事を推進します。(七尾市)

- 国道159号 ^{はくい} 羽咋道路の事業推進 ……資料6
羽咋道路は、国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故の改善、能登有料道路へのアクセス向上等を目的とした延長約6.7kmのバイパス事業です。平成22年度は調査・設計を推進します。(羽咋市)

- **国道157号 香林坊^{こうりんぼう}拡幅^{の まち ひろ こうじ}(野町^{の まち ひろ こうじ}広小路^{の まち ひろ こうじ}交差点改良)の事業推進** ……資料7

野町^{の まち ひろ こうじ}広小路^{の まち ひろ こうじ}交差点改良は、右折車線の2車線化を実施し、慢性的な交通混雑を解消するとともに、歩道の拡幅、電線類の地中化を行う事業です。平成 22 年度は、改良工事及び電線類の地中化を推進し、完成する予定です。(金沢市^{かなざわ})
- **国道159号 松浜^{まつはま}自歩道^{まつはま}整備の事業推進** ……資料8

かほく市松浜地区は、車道及び歩道幅員が狭く、通学児童や高齢者、通勤通学の自転車等の利用に危険が生じています。また、当該地区は近接する保育所や小・中学校の通学路にも指定されていることから、車道の拡幅と自転車歩行者道の設置を行い、安心して利用できる通行空間の確保ならびに歩道のバリアフリー化を目的に、交通安全事業を推進します。平成 22 年度は、自歩道^{じほどう}設置工事を推進します。(かほく市)
- **国道157号 横宮^{よこみや}電線共同溝^{よこみや}整備の事業推進** ……資料9

横宮^{よこみや}電線共同溝は、既設の電線共同溝と連続的に電線類を地中化することにより、安全で安心して利用できる通行空間の確保と都市防災性の向上を目的とした事業です。平成 22 年度は、横宮^{よこみや}自歩道^{よこみや}整備事業による拡幅と併せ、電線類の地中化を推進します。(野々市町^{の の いち まち})
- **魅力ある河川空間の創出(自然再生事業)^{てどりがわ}【手取川^{せんじょうち}】** ……資料10

かつて、手取川^{せんじょうち}は扇状地河川の特徴としての原風景である「石の河原」が手取川全川に広がっていましたが、現状で河床^{かしょう}の低下により一部河床に岩^{いちぶかしょう}が露出^{ろしゅつ}してきており、河川の流況によっては、魚類等の生息環境が悪化してきているため、バランスのとれた河川環境の保全に配慮しつつ、石川県の名の由来となった手取川の原風景である「石の河原」の復元に取り組みます。(白山市^{はくさんし})

◆ 災害に強い安全・安心な国土の実現 ◆

- **国道8号 太田^{おおた}高架橋^{こうかきょう}耐震補強の事業推進** ……資料11

一般国道 8 号は、地震時における救助・救援活動、緊急物資輸送のための緊急輸送道路として位置づけられています。当該橋梁は、第三者被害が懸念される高架橋であり、最新の道路橋示方書に対応させ優先的に対策を実施します。平成 22 年度は、太田高架橋の橋脚^{きょうきゃく}補強等を促進し、第一次緊急輸送道路としての安全性・信頼性の早期確保を図ります。

● 国道159号 荻島地区防雪対策の推進 ……資料12

国道159号の宝達志水町荻島地区は、道路幅員が狭小であり家屋が連担しており、冬期において積雪による一般交通の障害や積雪作業の障害となっています。この狭小区間8kmにおいて消雪施設の連続化を行います。荻島地区の防雪対策(消雪施設)を推進し、平成22年度の降雪期前までの完了を図ります。(宝達志水町)

● 国道160号 大泊地区防災事業の推進 ……資料13

越波により特殊通行規制に指定されている大泊地区において、安全で円滑な道路交通の確保を目的とする事業です。平成22年度は、消波ブロックの整備を推進します。(七尾市)

● 手取川下流部河道掘削の整備推進【手取川改修】 ……資料14

洪水を安全に流下させる河道断面が不足している手取川下流部白山市湊地区において河道掘削を推進します。(白山市)

● 大規模引堤による治水安全度向上(重点区間の改修)【梯川改修】 ……資料15

前川合流点から鍋谷川合流点までの間を重点改修区間と位置づけ、下流部より順次引堤による堤防整備を行っており、引き続き重点改修区間の堤防整備(引堤)等を推進します。平成22年度は、小松地区の堤防整備(引堤)を推進するため用地買収等、附帯施設(小松大橋、市道等)の改築等を推進します。(小松市)

● 手取川水系柳谷中流砂防えん堤群の整備推進 ……資料16

柳谷の崩壊地の侵食防止、河床の安定、上流からの土石流を捕捉・減勢させるため柳谷中流砂防えん堤群の整備を推進します。(白山市)

● 手取川水系砂防えん堤補強対策の整備推進 ……資料17

牛首川及び尾添川の既設砂防えん堤の機能・安全度の評価により、老朽化等による機能低下及び下流域への影響が大きい河内谷砂防えん堤(牛首川)、瀬戸砂防えん堤(尾添川)の補修・補強対策を推進します。(白山市)

● 甚之助谷地区地すべり対策事業の整備推進 ……資料18

白山の南西側斜面、手取川の最上流部に位置する甚之助谷地区において、地すべりの原因となる地下水の排除を主体とした地すべり防止対策事業を推進します。(白山市)

- **直轄石川海岸(小松工区)の事業推進** …資料19
ちよつかついかわかいがん こまつ
かいがんしんしよく ごがん こまつこうく
海岸侵食が著しく護岸等の被災が頻発している小松工区で、侵食対策として人工リーフを整備します。(小松市)

◆ 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化 ◆

- **国道470号 能越自動車道七尾氷見道路の事業推進** …資料1(再掲)
のうえつ ななおひみ
- **国道470号 能越自動車道輪島道路の事業推進** …資料20
のうえつ わじま
わじま のうえつ わじま みいまちほんごう みい
輪島道路は、能越自動車道の一部を構成し、輪島市三井町本江の三井IC(仮称)から同市三井町洲衛の能登空港 IC に至る高規格幹線道路網の形成と交通事故の減少を目的とした延長 4.7km の事業です。平成 22 年度は、調査・設計を推進し、用地買収に着手します。(輪島市)

国道470号 能越自動車道七尾氷見道路の事業推進 石川県七尾市

- 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成
- 人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの実現
- 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化

事業の概要

七尾氷見道路は、高規格幹線道路の一般国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、石川県内では、七尾市八幡（七尾IC（仮称））から富山県境の延長13.6kmで事業を推進しています。

整備効果

国道160号は通勤通学や物資の輸送に重要な役割を果たしていますが、雨量規制等による通行止めが頻繁に発生しています。

七尾氷見道路が供用されることにより、国道160号の代替機能が確保され、安全で快適な道路ネットワークが形成されることとなり、能登との交流促進が期待されます。当該事業の整備により七尾市から氷見市までの所要時間が約30分短縮される見込みです。

事業着手

平成8年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、全線において、用地買収、改良及び橋梁工事を推進します。



かなざわとうぶ
国道159号 金沢東部環状道路の事業推進
かなざわ
石川県金沢市

- 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成
- 人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

金沢東部環状道路は、金沢外環状道路（山側環状）の一部を構成し、北陸自動車道や能登有料道路とあわせて、広域的な道路ネットワークの形成を目的とした延長約9.4kmの事業です。

整備効果

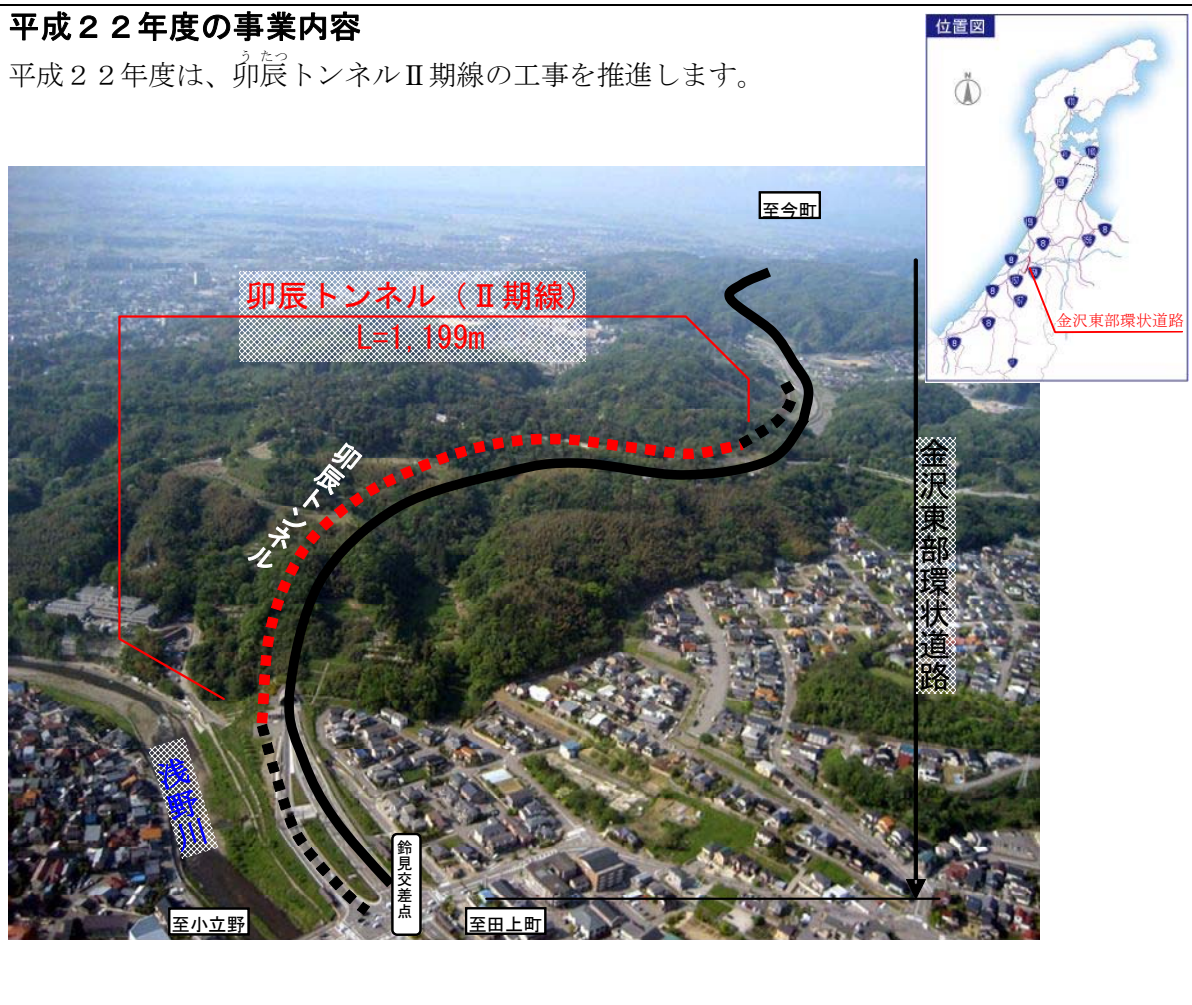
現在整備中の鈴見交差点立体化と併せた4車線化整備により、山側環状全体の渋滞緩和が期待され、交通事故の大幅な減少が期待されます。また、卯辰トンネル（Ⅱ期線）の整備により、金沢東部環状道路（山側環状）から中心部へのアクセスが改善され、高度医療施設（第三次医療施設：金沢大学附属病院）へのアクセス性向上による救命率向上も期待されます。

事業着手

昭和62年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、卯辰トンネルⅡ期線の工事を推進します。



国道 8 号加賀拡幅の事業推進

石川県加賀市

●人をひきつけるゆとりといたしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

加賀拡幅は国道 8 号の加賀市内の交通混雑の緩和を目的とした加賀市箱宮町から同市黒瀬町に至る延長約 6.4 km の拡幅事業です。

平成 11 年度から平成 13 年度までに実施した市民参画型道路計画 (P I) を踏まえ、現道拡幅による道路計画を策定しています。

整備効果

北陸自動車道加賀 I C と国道 8 号小松バイパスに挟まれたボトルネック区間において、加賀温泉郷を中心とする加賀市の経済活動や観光を阻害する渋滞を解消します。

事業着手

平成 15 年度

平成 22 年度の事業内容

平成 22 年度は、加賀市箱宮町から松山町間において舗装工事を推進し、同区間 (L = 2.0 km) の供用を図るとともに、加賀市加茂町から黒瀬町間の用地買収及び加賀大橋 II 期線の下部・上部工を推進します。



国道8号 こまつ 小松バイパスの事業推進 こまつ 石川県小松市

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

小松バイパスは国道8号の交通需要をはじめとする諸問題に対応し、加賀産業開発道路（主要地方道かなざわこまつ金沢小松線）と接続することにより、主要幹線道路としての機能を十分発揮するとともに、小松加賀地方圏の更なる発展に大きく寄与する事を目的とした延長約15.6kmの事業です。

整備効果

小松バイパスの交通容量を拡大することにより、こまつ小松市街の交通混雑の緩和及び交通事故の減少等が期待されます。また、かなざわ金沢・かが加賀方面のアクセス向上が図られ、地域間交流及び地域経済の活性化に寄与します。

事業着手

昭和49年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、こまつ小松市八幡～やわた東山町間の4車線化に向けて、橋梁及び改良工事を推進します。

位置図



国道159号 ^{ななお}七尾バイパスの事業推進

石川県七尾市 ^{ななお}

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

七尾バイパスは、国道159号の七尾市街地の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的として、七尾市川原町から同市下町に至る延長約4.3kmのバイパス事業です。

整備効果

七尾バイパスの現道部において死傷事故率が全国平均の6倍を超える箇所が存在しており、これらの事故の低減を図るとともに、渋滞の緩和によりCO₂の排出量が削減されることが期待されます。

事業着手

平成12年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、古府地区等の用地買収及び藤野地区の改良工事を推進します。



国道159号 羽咋道路の事業推進

石川県羽咋市・宝達志水町

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

羽咋道路は、国道159号の一部を形成し、現道部の渋滞・事故・冬期通行障害の改善、能登有料道路へのアクセス向上等を目的とした延長6.7kmのバイパス事業です。

整備効果

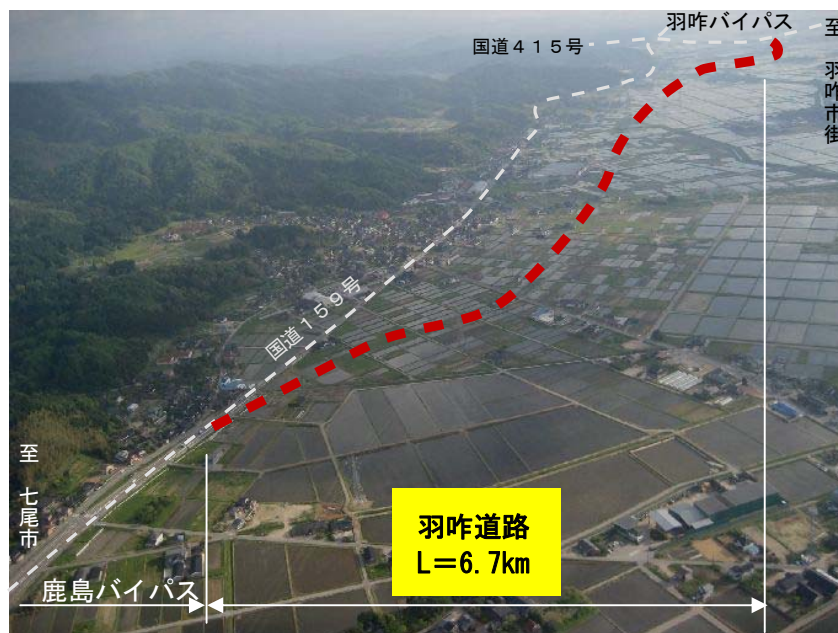
羽咋道路の整備により、年間約63万人時間の渋滞削減効果が得られるとともに、平成19年度に国道159号において複数の悲惨な交通死亡事故が発生するなど、死傷事故率300以上(H15～H18の4年間)となる飯山交差点などの問題箇所を回避することができ、交通の安全性が向上します。

事業着手

平成20年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、調査・設計を推進します。



こうりんぼう のまちひろこうじ
国道157号 香林坊拡幅（野町広小路交差点改良）の事業推進
かなざわ
石川県金沢市

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

香林坊拡幅は、安全で円滑な道路交通の確保、都市景観の向上、快適な歩行者空間の創出を目的として、金沢市の都心軸である国道157号の青草町（むさし交差点）～野町間において広幅歩道の整備や電線類の地中化等を実施している延長約1.6kmの拡幅事業です。

整備効果

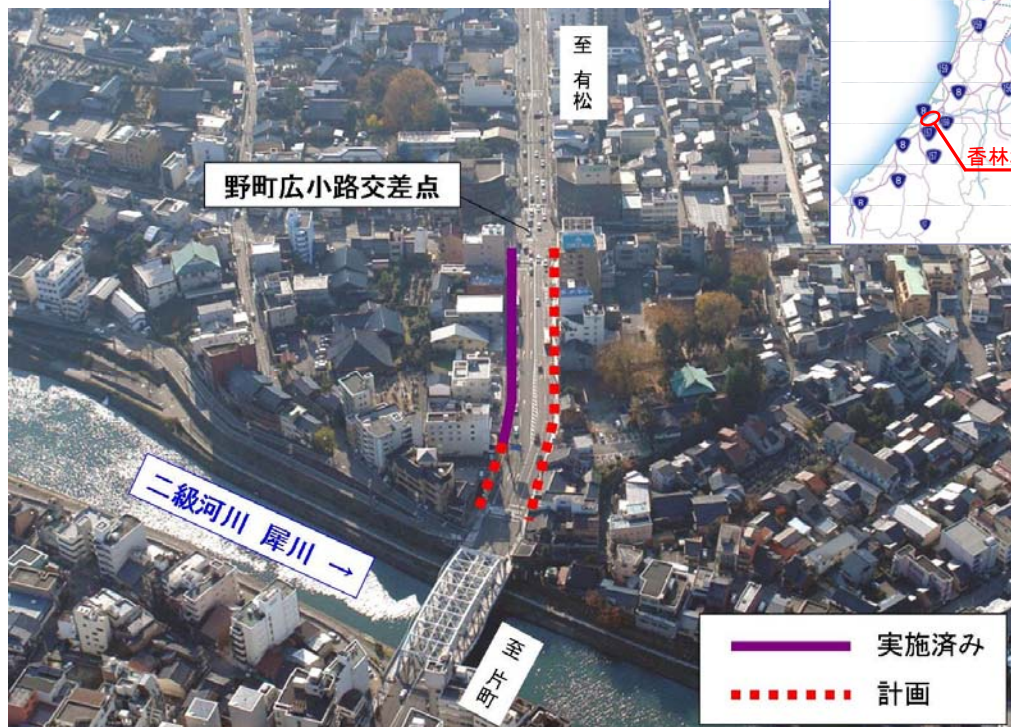
野町広小路交差点において右折車線の2車線化を実施し、慢性的な交通混雑を解消するとともに、歩道の拡幅、電線類の地中化を行い、北陸自動車道金沢西ICと金沢市中心部とを結ぶ金沢の西の玄関口に相応しい街並み景観を創出します。

事業着手

昭和62年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、野町地区の改良工事及び電線類の地中化を推進し、完成する予定です。



まっはまじほどう
国道159号 松浜自歩道整備の事業推進
 石川県かほく市

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

かほく市松浜地区は、車道及び歩道幅員が狭く、通学児童や高齢者、通勤通学の自転車等の利用に危険が生じています。また、当該地区は近接する保育所や小・中学校の通学路にも指定されていることから、車道の拡幅と自転車歩行者道の設置を行い、安心して利用できる通行空間の確保ならびに歩道のバリアフリー化を目的に、交通安全事業を推進します。

整備効果

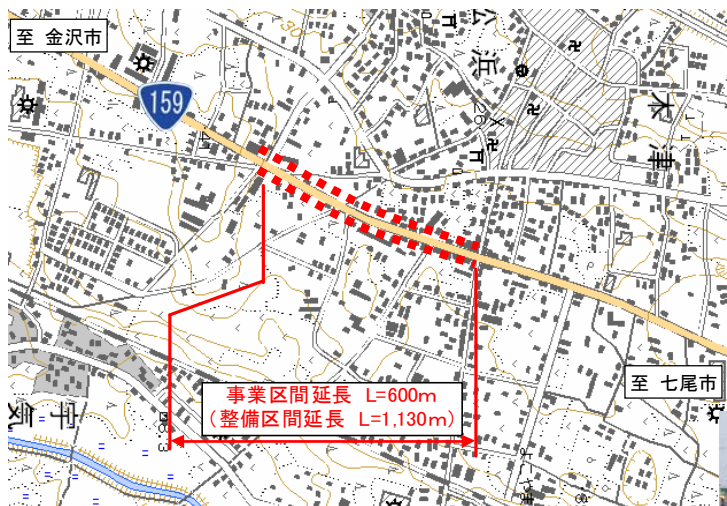
自動車と歩行者等の通行空間分離ならびに歩道のバリアフリー化による、道路利用者の安全確保が図られます。

事業着手

平成16年度

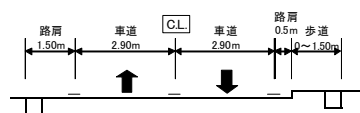
平成22年度の事業内容

平成22年度は、自歩道設置工事を推進します。

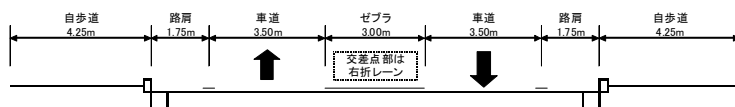


現況写真(かほく市松浜)

●現況道路断面図(総幅員 約8~10m)



●計画横断面図【標準部】(総幅員 約22m)



よこみや
国道157号 横宮電線共同溝整備の事業推進
 いしかわ ののいち
石川県石川郡野々市町

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

国道157号は、金沢市を起点とし、岐阜県岐阜市に至る主要幹線道路であり、既設の電線共同溝と連続的に電線類を地中化することにより、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観及び都市防災性の向上を図るものです。

整備効果

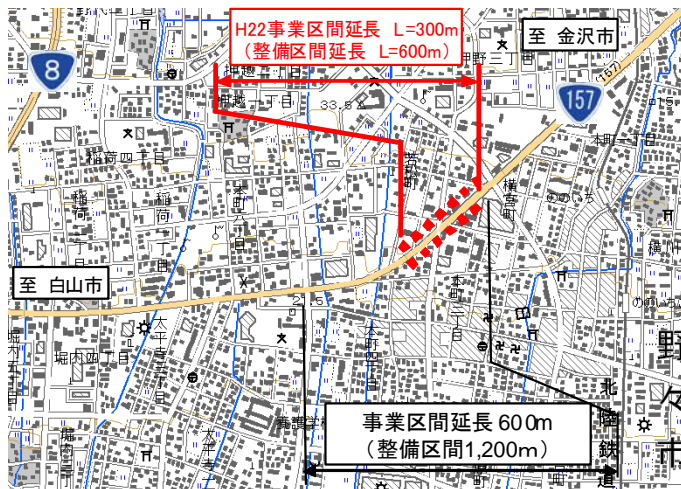
さらに電線共同溝の整備により、道路の掘返し防止、交通渋滞の緩和、高度情報化社会の早期実現も期待されます。

事業着手

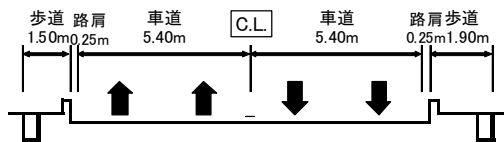
平成19年度

平成22年度の事業内容

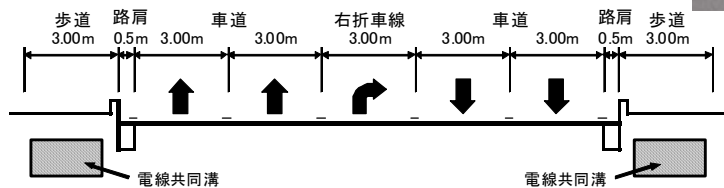
平成22年度は、横宮自歩道整備事業による拡幅と併せ、電線共同溝工事を行い、無電柱化を推進します。



● 現況横断面図【標準部】(総幅員15.0m)



● 歩道計画横断面図【交差点部】(総幅員22.0m)



現況写真(野々市町横宮町)

魅力ある河川空間の創出（自然再生）

てどり はくさん
手取川水系手取川（石川県白山市）

●人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実

事業の概要

手取川は急流河川で、扇状地河川の特徴としての原風景である「石の河原」が、手取川全川に渡って広がっていたことが特徴でありました。しかし、現状では河床の低下により一部で基岩が露頭するなど、河川の流況等によっては魚類の生息環境が悪化している区間が見受けられます。

整備効果

手取川扇状地の特徴を踏まえた上で、魚がのびやすい生息環境の保全と創出、バランスのとれた河川環境の保全に配慮しつつ、石川県の名の由来となった手取川の原風景である「石の河原の復元」を目指します。

事業着手

平成20年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、引き続き、基岩部における砂礫河床復元に向けて、現地発生材等を活用した瀬・淵形成を考慮した施工を実施します。

位置図



平成21年6月撮影



石の河原イメージ



昭和30年頃【砂礫河床】

国道 8 号 おおたこうきょう 太田高架橋耐震補強の事業推進
かほく つばたまち
石川県河北郡津幡町

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

国道 8 号は、地震時における救助・救援活動、緊急物資輸送のための緊急輸送道路として位置づけられています。

当該橋梁は、第三者被害が懸念される高架橋であり、最新の道路橋示方書に対応させ優先的に対策を実施します。

整備効果

震災時の緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

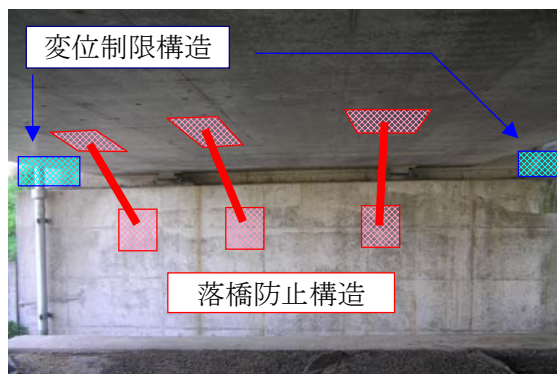
平成 22 年度

平成 22 年度の事業内容

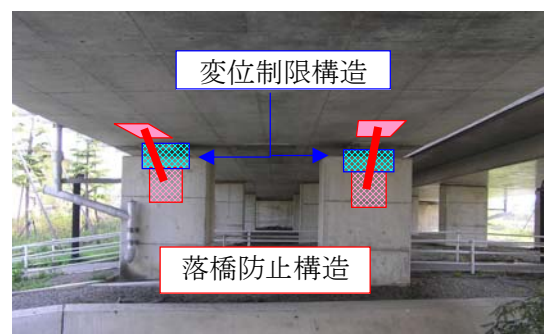
平成 22 年度は、太田高架橋の橋脚補強等を促進し、第一次緊急輸送道路としての安全性・信頼性の早期確保を図ります。



太田高架橋 全景



落橋防止・変位制限構造設置箇所



落橋防止・変位制限構造設置箇所

おぎのしま
国道159号 荻島地区防雪対策の推進
はくいぐんほうだつし みずちよう
石川県羽咋郡宝達志水町

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

国道159号は、七尾市を起点とし、金沢市に至る延長約61kmの能登半島を縦貫する幹線道路であり、「緊急輸送道路ネットワーク計画」にて、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

宝達志水町荻島地区は、道路幅員が狭小であり家屋が連担しており、冬期において積雪による一般交通の障害や積雪作業の障害となっています。この狭小区間8kmにおいて消雪施設の連続化を行います。

整備効果


当該事業整備により、現国道159号の円滑な冬期道路交通の確保が可能となります。

事業着手

平成22年度

平成22年度概算要求の事業内容

おぎのしま
荻島地区の防雪対策（消雪施設）を推進し、平成22年度の降雪期前までの完了を図ります。



宝達志水町荻島

【渋滞状況】

整備効果イメージ

【整備後】

The diagram shows a cross-section of the road with a width of 8000mm, divided into two 4000mm lanes. A 450mm wide snow storage area (積雪槽) is located between the lanes. A red circle highlights the snow storage area, with a callout box indicating the '整備効果イメージ' (Improvement Effect Image). The photos show a road with heavy snow and traffic congestion before the improvement, and a clear road with snow piled up on the sides after the improvement.

おおどまり
国道160号 大泊地区防災事業の推進
ななお
石川県七尾市

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

国道160号は、七尾市を起点とし、富山県氷見市を経て、富山県高岡市に至る延長45.3kmの石川県能登地域と富山県を連結する唯一の幹線道路であり、石川県と富山県において策定された「緊急輸送道路ネットワーク計画」に、第一次緊急輸送道路として位置づけられています。

越波により通行に支障をきたした場合、緊急輸送の機能が損なわれるとともに、地域の社会・経済活動に大きな支障をきたすため、越波対策を行い、安全・安心な道路ネットワークを確保するものです。

整備効果

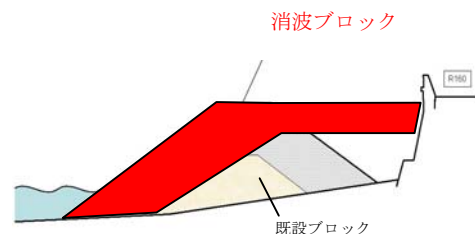
緊急輸送道路の機能を確保し、安全で円滑な交通の確保を図ります。

事業着手

平成22年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、消波ブロックの整備を推進します。



手取川下流部河道掘削の整備推進

てどり 手取川水系手取川 (石川県白山市) はくさん

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国有数の急流河川です。現在、急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため既設堤防の拡幅を実施していますが、河口付近では流下能力が不足している区間があります。

整備効果

河道掘削し流下の力を向上させます。

事業着手

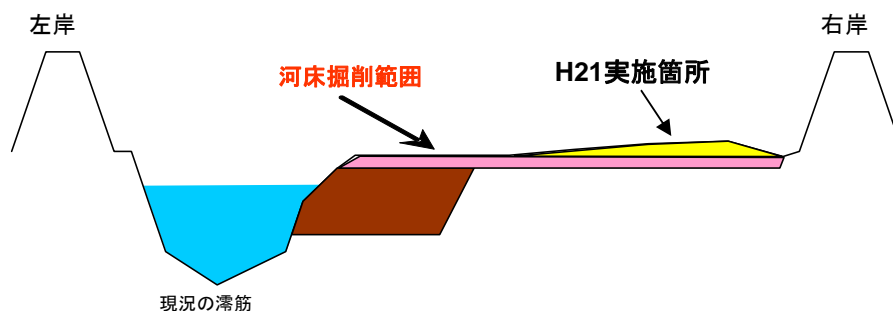
平成21年度

平成22年度の事業内容

平成21年に引き続き、流下能力を向上させるため白山市湊地区^{みなと}において河道掘削を実施します。



掘削横断面図(イメージ)



かけはしがわ

梯川重点区間改修事業の推進

こまつ

梯川水系梯川（石川県小松市）

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

梯川水系梯川は小松市街地を貫流する都市型河川であり、氾濫域に人口、資産等が集中しており、また流下能力が大きく不足しているため、氾濫による被害は甚大なものが予想されます。このため治水安全度の向上を目的に、特に流下能力が不足している1.0km～7.6km迄（前川合流点～鍋谷川合流点間）を重点改修区間と位置付け、下流部より順次引堤による堤防整備を行っています。また改修区間には、小松天満宮（国指定重要文化財）が存在し地域のシンボルとなっていることから、現位置での保存を図る分水路方式による河川整備を行います。

整備効果

重点区間の改修により、洪水を安全に流下させることが可能となり、小松市中心市街地の治水安全度が向上されます。

事業着手

昭和46年度

平成22年度の事業内容

平成10年9月、平成16年10月及び平成18年7月と近年の洪水では「はんらん危険水位」を超えるなど、危険な状況にあることから、引き続き、重点改修区間である小松地区の堤防整備（引堤）を推進するため、築堤、用地買収等、附帯施設（小松大橋等）の改築等を推進します。



改修の進む梯川（平成21年6月撮影）

柳谷中流砂防えん堤群の整備推進

はくさん
石川県白山市

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

手取川水系牛首川上流の柳谷は、溪岸の崩壊・侵食が著しく、河床には過去の土石流などによる不安定土砂が堆積しており、既設砂防えん堤の一部は損傷・埋塞しています。また、直下流の別当出合は年間5万人が訪れる白山観光及び登山の拠点施設があります。このため、柳谷中流部において溪岸崩壊地の侵食防止、河床不安定土砂の扞止、上流からの土石流の補足・減勢させるため、4基の砂防えん堤の新設（33号、34号、35号、36号）を実施します。

整備効果

大規模な土砂流出を抑制することにより、別当出合の白山登山・観光の拠点施設及び白峰集落など下流の保全対象を土砂災害から守ります。

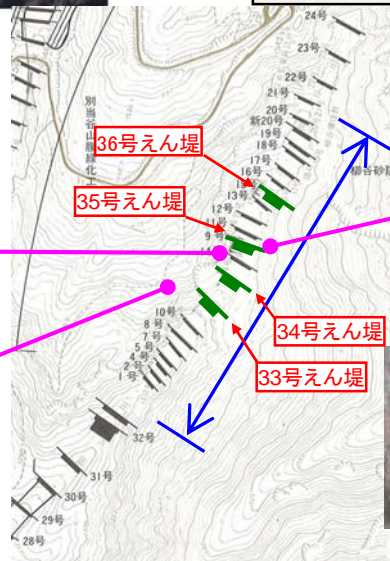
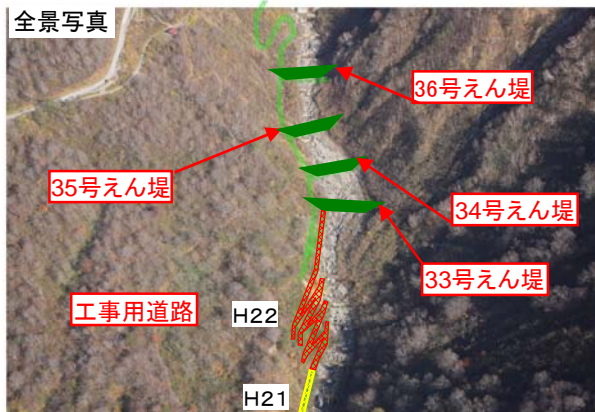
事業着手

平成21年

平成22年度の事業内容

砂防堰堤を施工するための工事用道路を引き続き施工します。

全景写真



砂防えん堤補強対策の整備推進

はくさん
石川県白山市

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

手取川水系牛首川及び尾添川流域の既設砂防えん堤において、老朽化や損傷を受けている施設があります。このため、土石流や大規模土砂流出に備え、機能・安全度の評価を行い、機能低下及び下流域への影響が大きい施設から補修・補強等を順次行い機能保全を図ります。

整備効果

補修・補強等による機能保全を図ることにより、土石流や大規模土砂流出などの災害に対する下流域への安全度の向上を図ります。

事業着手

平成20年

平成22年度の事業内容

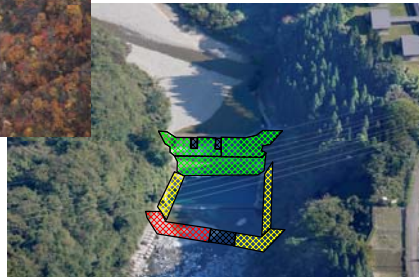
補強対策として河内谷砂防えん堤では水叩き及び本えん堤、瀬戸砂防えん堤では副えん堤の施工を行います。



河内谷砂防堰堤
(S18.10月完成)

凡例
H22実施箇所

瀬戸砂防堰堤
(S27.3月完成)



【土砂災害発生時の影響】

土砂災害発生

砂防施設が無かったら

想定される影響

- ・土石流による上流山間地域の壊滅的被害の危険性
- ・氾濫区域の白山市や川北町などに居住する約9万人や、北陸圏の重要交通網に影響
→石川県のみならず北陸圏の社会経済に甚大な影響
- ・上流の山間部では白山の自然環境が破壊され、生態系・水源涵養機能へ計り知れない影響
- ・手取川ダム貯水池への異常堆砂によるダム機能への影響



じんのすけだに

甚之助谷地区地すべり対策の整備推進

はくさん

石川県白山市

●災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

甚之助谷地すべりは、手取川の源流である日本三名山のひとつ白山の標高1,600~2,000mに位置する全国でも希な高山地にある大規模な地すべりで、現在も年間10cmを超える活発な移動が続いています。また、昭和9年7月11日の手取川大水害時には別当谷などでの地すべりによる土砂流出により、下流の白峰村(現在、白山市白峰)などに死者・行方不明者112名という未曾有の被害をもたらしました。

このため、地すべり土塊の移動を抑制するために集水ボーリング、集水井、排水トンネルなどの地すべり対策を実施します。

整備効果

大規模な地すべりに起因する大量の土砂流出を抑制し、沿川集落や観光資源である白山へのアクセス道の保全及び、手取川ダムの上水機能の低下を防止します。

事業着手

昭和37年

平成22年度の事業内容

左岸大規模ブロックへの地下水流入の抑制するため、排水トンネルを実施します。



万才谷河床にある亀裂から、流水が地下へ浸透し、左岸ブロックへ流れ込んでいる。



万才谷河床岩盤(安山岩溶岩)の割れ目の状況



こまつ

直轄石川海岸(小松工区)の事業推進

～安全で快適な海岸の保全と創出～

● 災害に強い安全・安心な国土の実現

事業の概要

石川海岸は、加越沿岸の中央に位置し、背後には加賀平野を代表する穀倉地帯が広がっており、近年は海岸沿いの砂丘地も工場地帯や住宅地として発展しています。また、石川海岸は冬期風浪による侵食が著しく、明治以降数百mにおよぶ海岸侵食を受け災害が相次いだことから、直轄海岸保全施設整備事業として、直立堤防・緩傾斜堤・離岸堤・人工リーフの整備を実施しています。

小松工区(5,540m)は平成16年6月に直轄海岸工事施行区域に編入され、人工リーフ工事を行っており、平成22年度は7基目の人工リーフに着手します。

整備効果

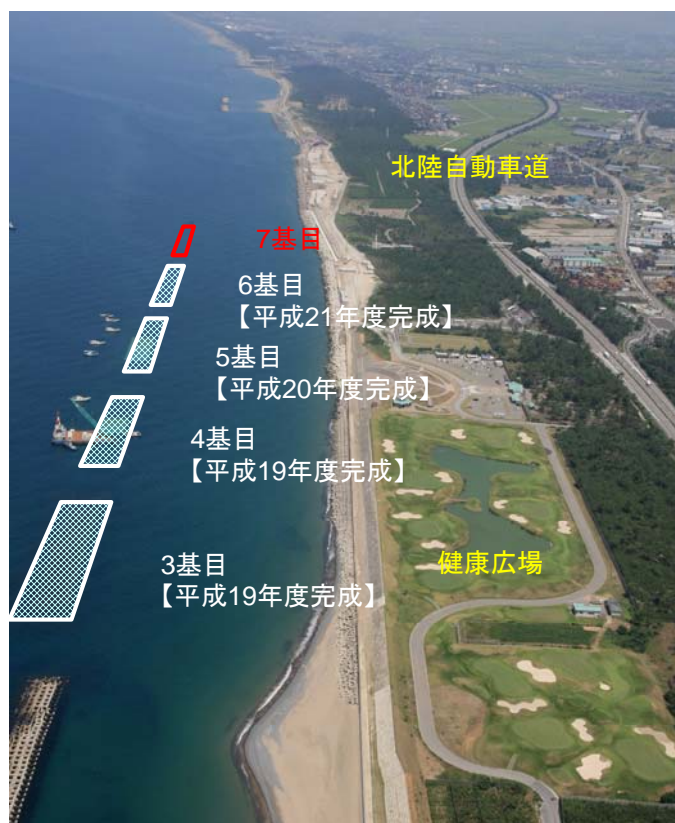
冬期風浪や台風による侵食を防ぎ背後地の安全が確保されるとともに、近年頻発している災害を防ぎます。

事業着手

平成16年度

平成22年度の事業内容

毎年波浪により堤防護岸の決壊や堤防天端陥没等の被災が相次いでいる小松工区において、人工リーフを推進します。



平成22年度実施箇所
【小松市日末地先】(平成20年8月撮影)

国道470号 輪島道路の事業推進

わじま
石川県輪島市

●日本海側の中枢拠点の形成に向けた交流機能の強化

事業の概要

輪島道路は、高規格幹線道路の国道自動車専用道路として整備を進めている「能越自動車道」の一部であり、輪島市三井町本江の三井IC（仮称）から同市三井町洲衛の能登空港ICに至る、高規格幹線道路網の形成と交通事故の減少を目的とした延長約4.7kmの道路です。

整備効果

輪島道路の整備により、輪島市街から能登空港及び奥能登で唯一の三次医療機関である公立能登総合病院へのアクセスが向上します。

事業着手

平成18年度

平成22年度の事業内容

平成22年度は、調査・設計を推進し、用地買収に着手します。

